お出かけ支援アプリ

要件定義書

第1.0版

2023年　1月　6日

システム開発演習B

*2172019 岩佐はるな、2172029 落合真奈、2172045 岸佑奈、2172117 山下真和都*

（指示内容）　今回のプロジェクト課題では、『チームが策定する「要件定義書」について、顧客の役割である授業担当教員が合意している』として進めてかまいません。

1. 背景

新型コロナウイルスの影響で旅行業界では、「遠出の外出」を控えられていた。しかし近頃では、オミクロンワクチンの接種や感染対策の充実、感染時の飲み薬の適用開始の見通しが立ってきたことにより、来年度以降の旅行業界の事業計画のためにお出かけ支援アプリⅡの開発を検討している。

1. 課題

現在、明らかになっている課題は次のとおりである。

1. 客が旅行をする際に一番重要視していることは、天候である。
2. これからは国内の旅行客だけではなく、国外からの旅行客も増えてくる。
3. 歩いて使用することを想定する。
4. 目的・方針

２．に挙げる課題を解決しながら、さらに旅行の支援を図ることを目的として、お出かけ支援アプリⅡのアプリ開発を行う。導入に当たっては、次の方針を掲げるものとする。

1. OpenWeather APIという気象情報サービスを使って、出発地・経由地・目的地の天候を簡単に確認できるようにする。
2. 入力した目的地のおすすめの見学ポイントを提案する。
3. 出発地から、周辺の待ち合わせスポット候補となる場所を提案する。
4. 海外からの旅行客のために、スマホの言語設定から「英語」と「日本語」の切り替え表示を行う。
5. 出発地点以外での待ち合わせを視野に入れ、出発地・経由地・目的地から、経路を検索可能にする。
6. ユーザの位置情報と周辺の風景を撮影した画像を共有する。
7. 概要

本アプリは、OpenWeather APIを用いて簡単に天候の確認を行うことができ、その情報をもとにおすすめの見学ポイントを提案する。また、海外の団体客向けに待ち合わせ時刻と待ち合わせ場所の設定、位置情報の送信を行うことができる。歩いて使用することが予想されるため、操作が単純になっている。

５．用語の定義

1. 端末

「出発地・経由地・目的地」を入力し、天候情報が表示される端末。

(2） 天候情報

入力された都市名から表示される天候情報。

　(3)　ユーザ

　　　　アプリケーションを使用する旅行客。

６．機能

本システムの機能は大きく次の六つに分類できる。各機能の名称と働きを以下に示す。

6.1　天候表示機能

「出発地・経由地・目的地」からOpenWeather APIを用いて目的地の天候の表示を行う。ユーザがテキストボックスに都市名を入力することで、都市名が OpenWeather API へと送られる。ボタンを押すごとに出発地・経由地・目的地の天候情報が順番に画面に表示される。

6.2経路検索機能

経路検索ボタンを押すことで、出発地、目的地の入力された情報から GoogleMapにて経路を自動検索する。

6.3　おすすめ見学ポイント表示機能

見学場所を表示するボタンを押すと、Googleの検索機能を用いて「目的地＋おすすめスポット」と自動入力され、検索結果を表示する。

6.4　位置情報共有機能

メール送信に伴い、自分のいる位置と一番新しく撮影した写真を添付して送信される。

6.5　待ち合わせ場所表示機能

待ち合わせボタンを押すと、出発地に入力した都市の駅の周辺施設がGoogleMap上で検索され表示される。

6.6　メール送信機能

メールアイコンを押すと、宛先、件名、本文を入力してメールを送信する。

７．　システム化の範囲

本システムでは、6.1、6.2、6.3、6.5、6.6の機能を実現することとする。

８．　導入・移行計画

スマートフォンにアプリケーションとして導入を行う。

９．　運用・保守

1. 通常時の運用は、定期バックアップなどを含め、きりん株式会社に委託する
2. 不具合発生時はきりん株式会社に連絡してもらい対応を行う
3. アプリの運用スケジュールは通年とする

１０．　工程計画

仕様凍結 ：　2023年1月7日

設計完了 ；　2023年1月14日

開発完了 ：　2023年1月21日

試験完了 ：　2023年1月20日

導入 ：　2023年2月1日

１１．　体制

1. システム部門は、システムに対して導入まで責任を持って対応する。
2. 運用部門は、運用保守に対して責任を持ち、顧客対応及びアプリのバージョン管理を実施する。

１２．　成果物

1. 要件定義書
2. 外部設計書
3. 内部設計書
4. 試験成績書（授業中に動作確認予定）
5. 製造プログラムファイルー式
6. マニュアル（運用、保守、操作）（今回は不要）

以上